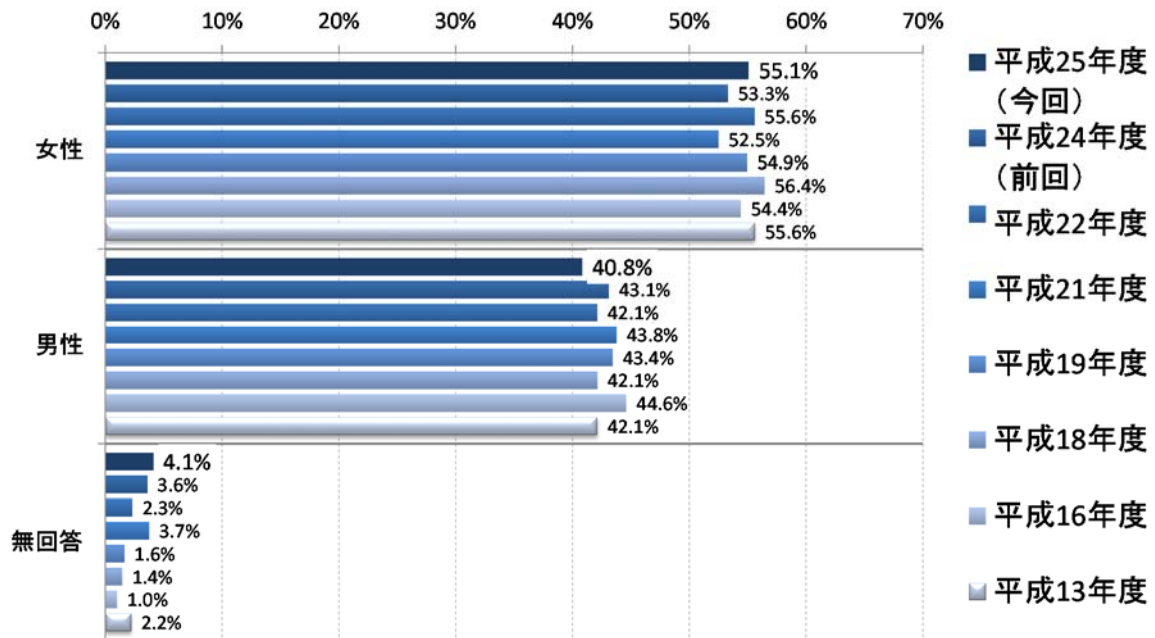


Ⅲ 市民意識調査の回答者の特性

1 基本属性

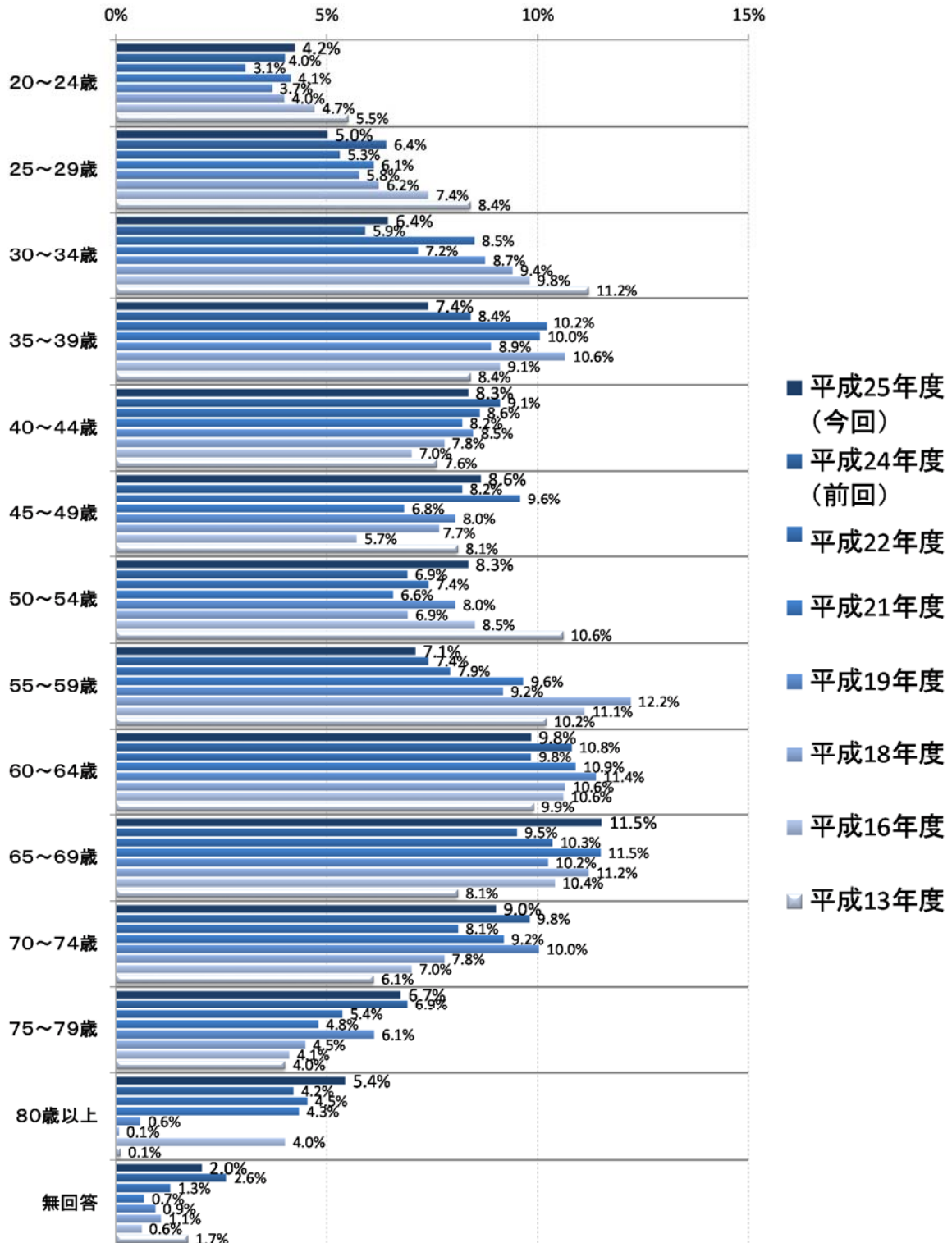
1-1 性別

回答者の性別をみると、“男性”(40.8%)よりも、“女性”(55.1%)の割合が高く、前回調査、前々回調査とほぼ同様の傾向を示しています。



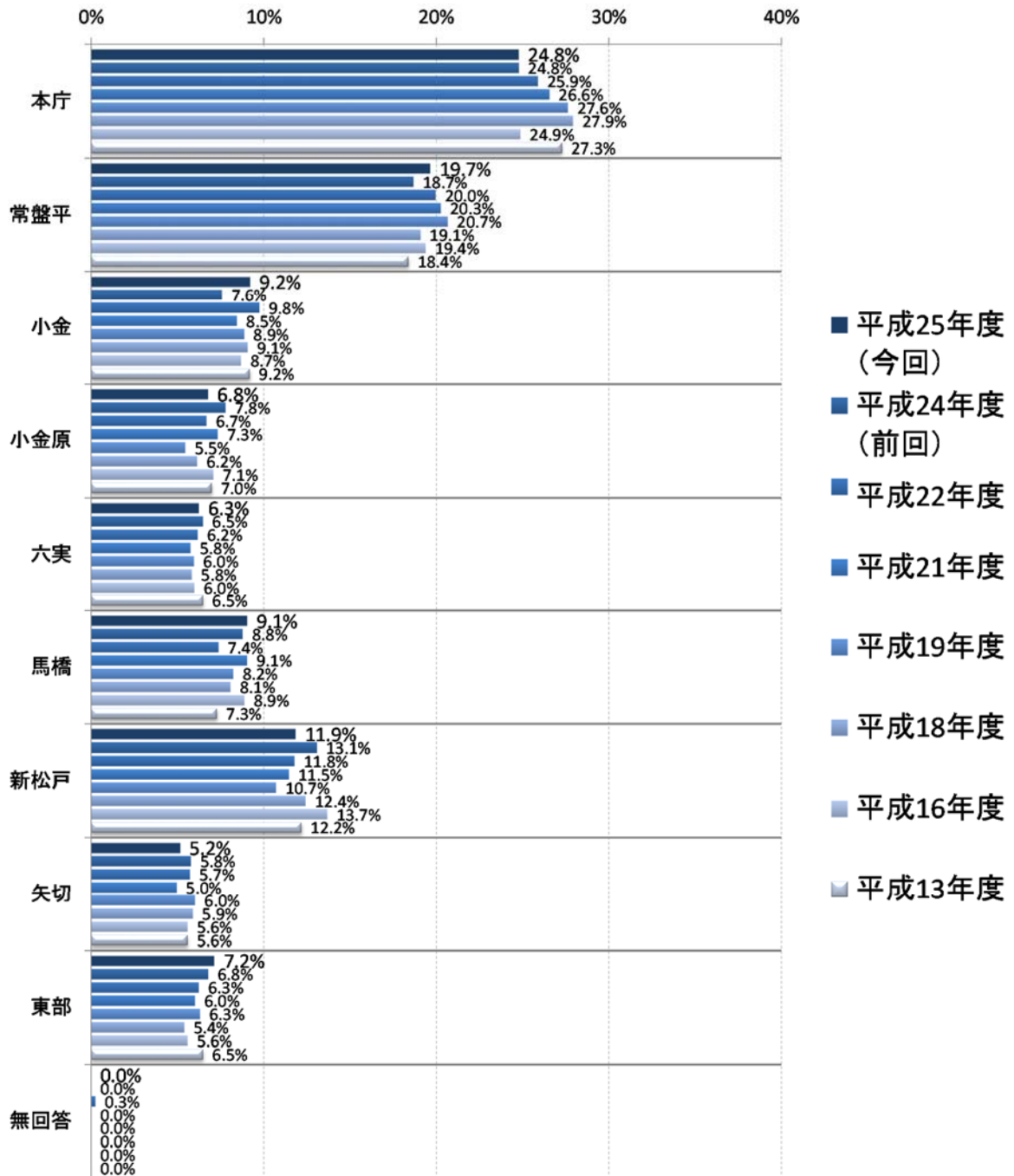
1-2 年齢

回答者の年齢は、前回調査と同様に“60～64 歳”、“65～69 歳”、“70～74 歳”など、高年代の占める割合が高くなっています。一方で、“25～29 歳”、“35～39 歳”での割合は前回調査よりも低くなっています。



1-3 居住地区

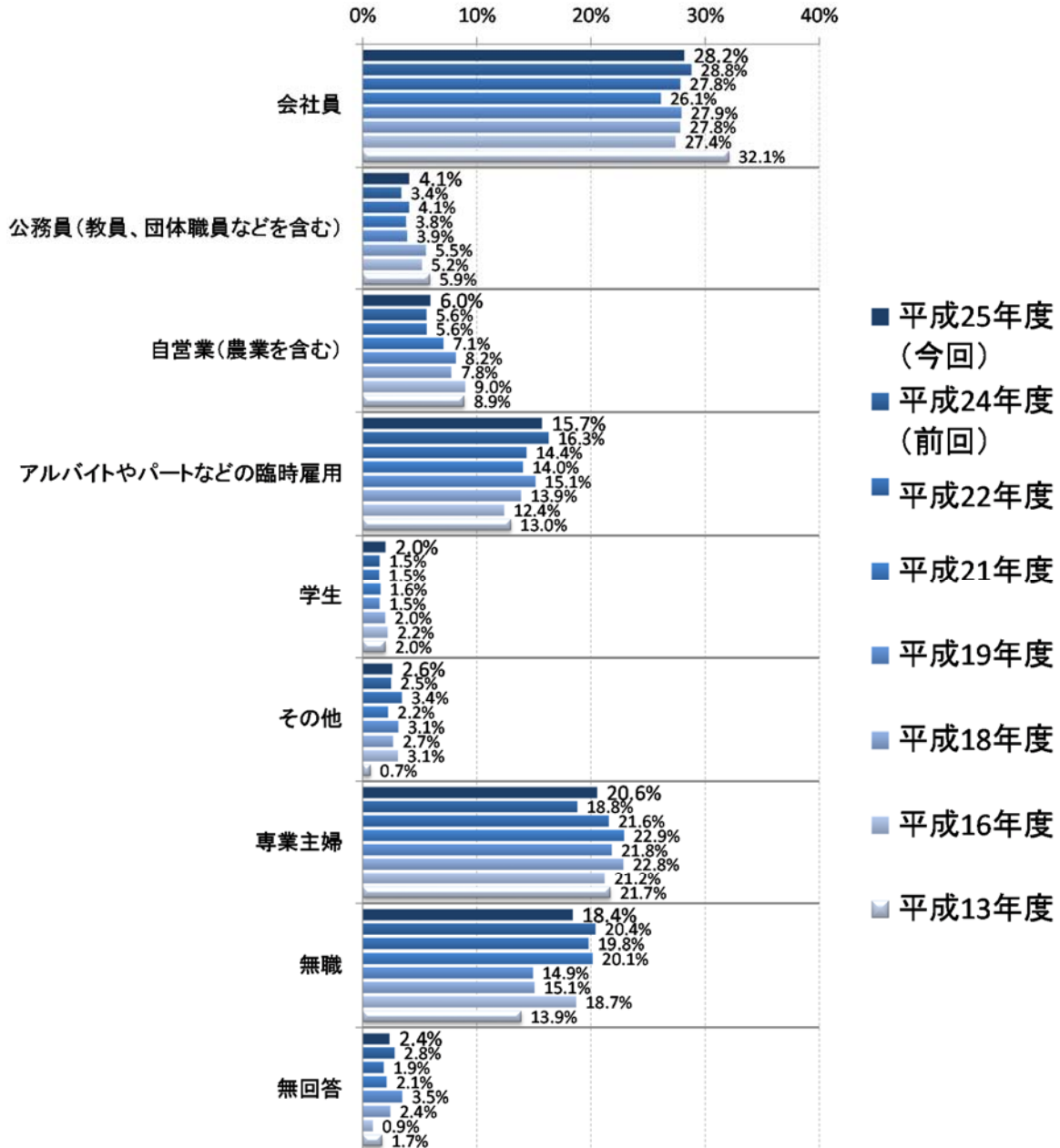
地区(支所管区)別に回答者の居住地区についてみると、“本庁”が24.8%と回答者全体の約1/4を占めています。次いで“常盤平”(19.7%)、“新松戸”(11.9%)となっており、概ね前回調査、前々回調査と同様の傾向を示しています。



1-4 就労状況

(1) 職業

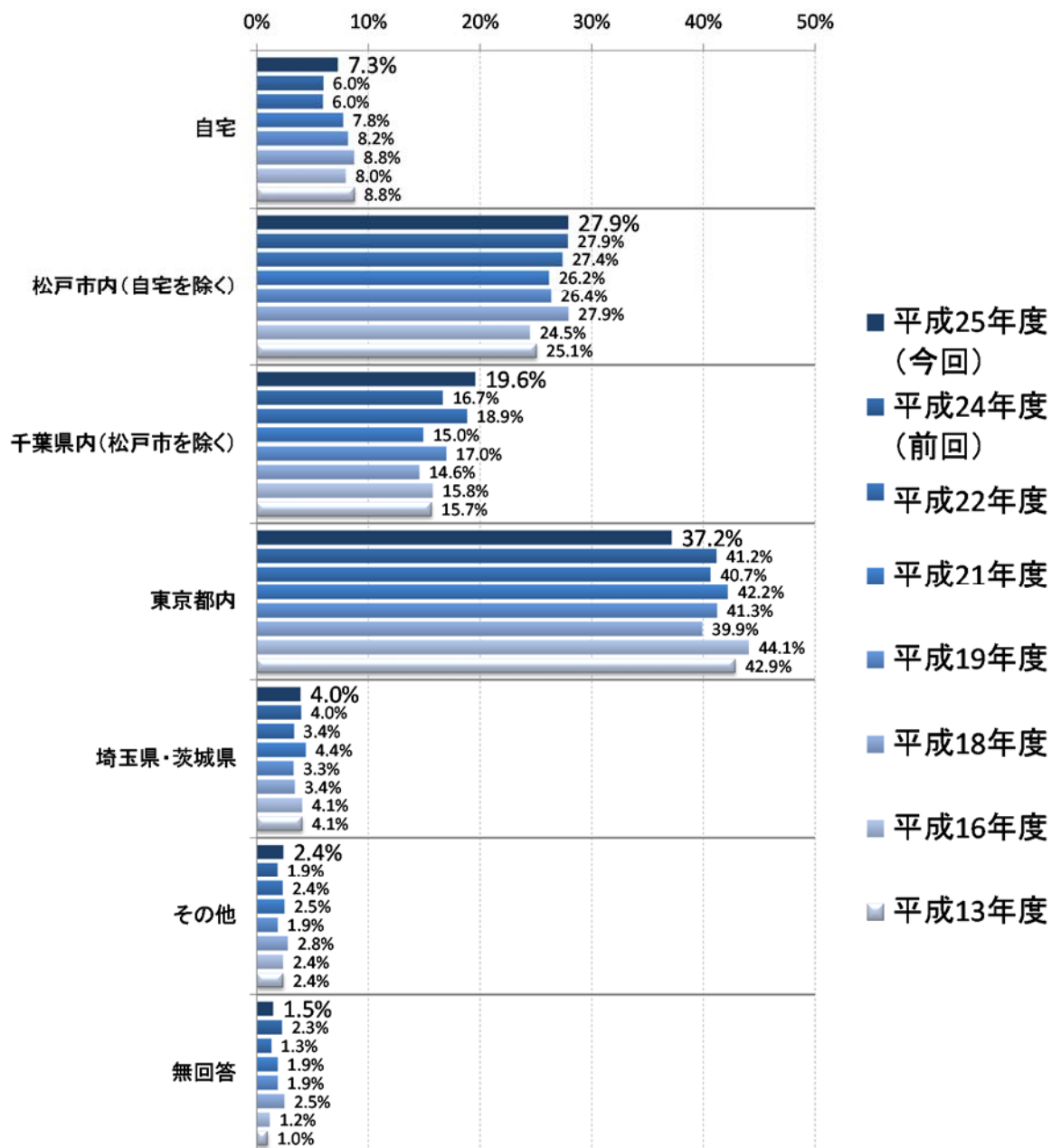
回答者の職業をみると、“会社員”（28.2%）、“専業主婦”（20.6%）、“アルバイトやパートなどの臨時雇用”（15.7%）が多くなっています。また、“無職”（18.4%）となっており、職業の構成はほぼ前回調査と同様となっています。



(2) 勤務地・通学地

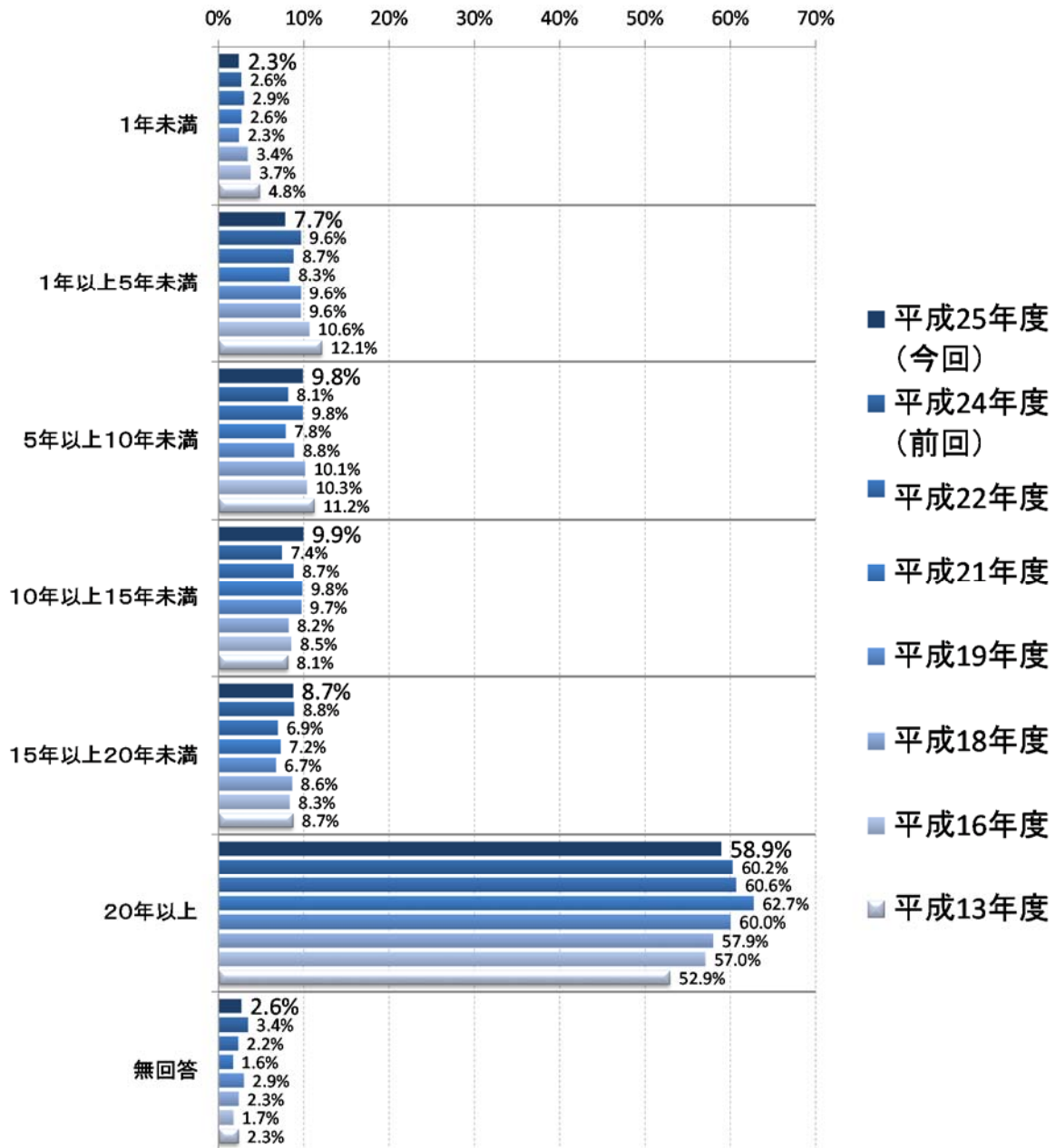
職業に対する回答が“専業主婦”と“無職”だった回答者を除いた 984 人に対して、勤務地・通学地について聞いたところ、前回調査と同様に回答者の37.2%は“東京都内”としています。次いで“松戸市内(自宅を除く)”が27.9%となっており、ほぼ前回と同様の傾向を示しています。

前回に比べると、“千葉県内(松戸市を除く)”が16.7%から19.6%と回答の割合がやや増加しています。



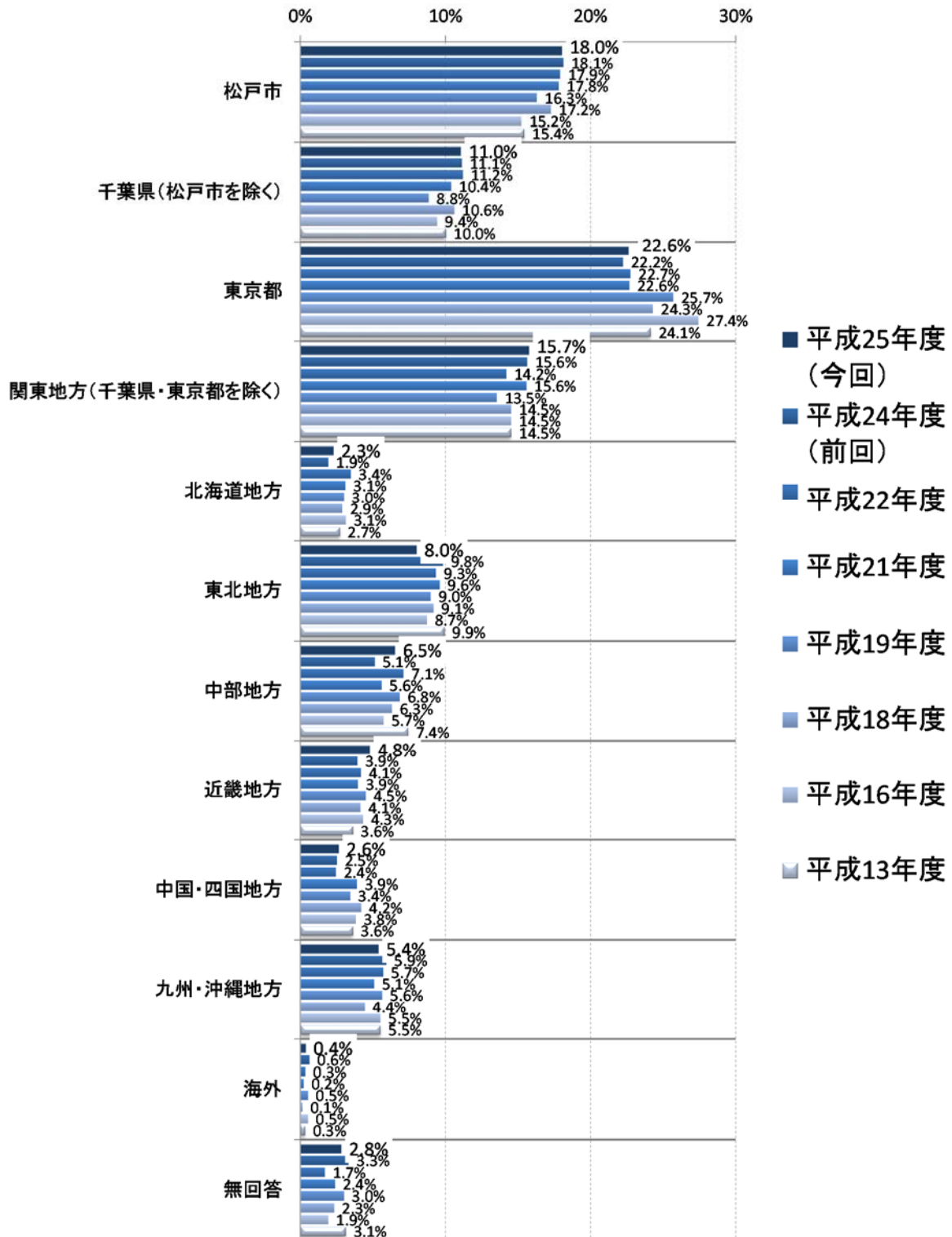
1-5 居住年数

回答者の居住年数は“20年以上”が58.9%で最も多くなっています。前回調査に比べ“10年以上15年未満”が7.4%から9.9%と回答の割合がやや増えています。



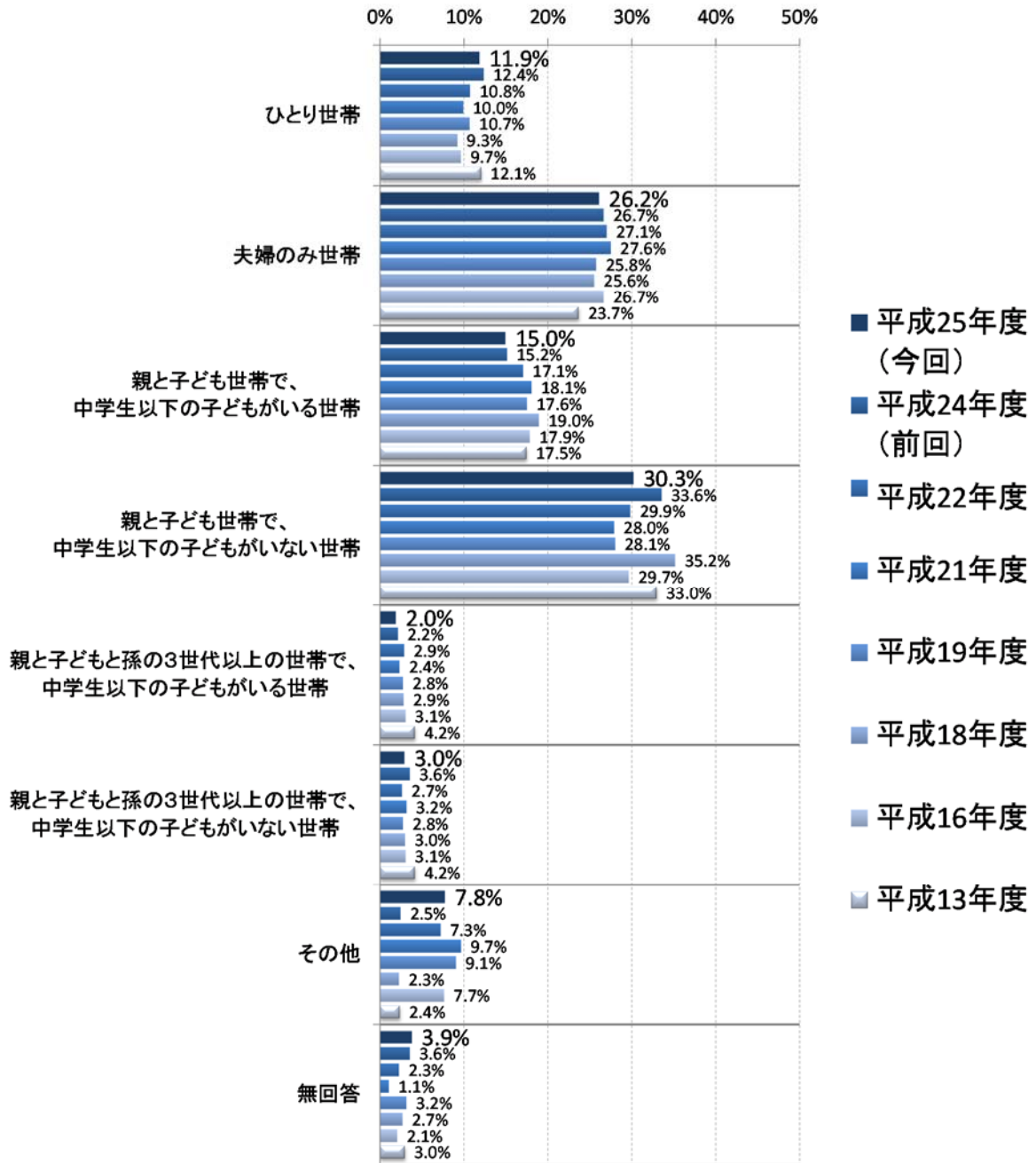
1-6 出身地

回答者の出身地は“東京都”が22.6%で最も多く、次いで“松戸市”(18.0%)、“関東地方(千葉県・東京都を除く)”(15.7%)となっています。



1-7 家族構成

回答者の家族構成をみると、“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯”(30.3%)と、“夫婦のみ世帯”(26.2%)が多く、次いで“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯”(15.0%)となっています。



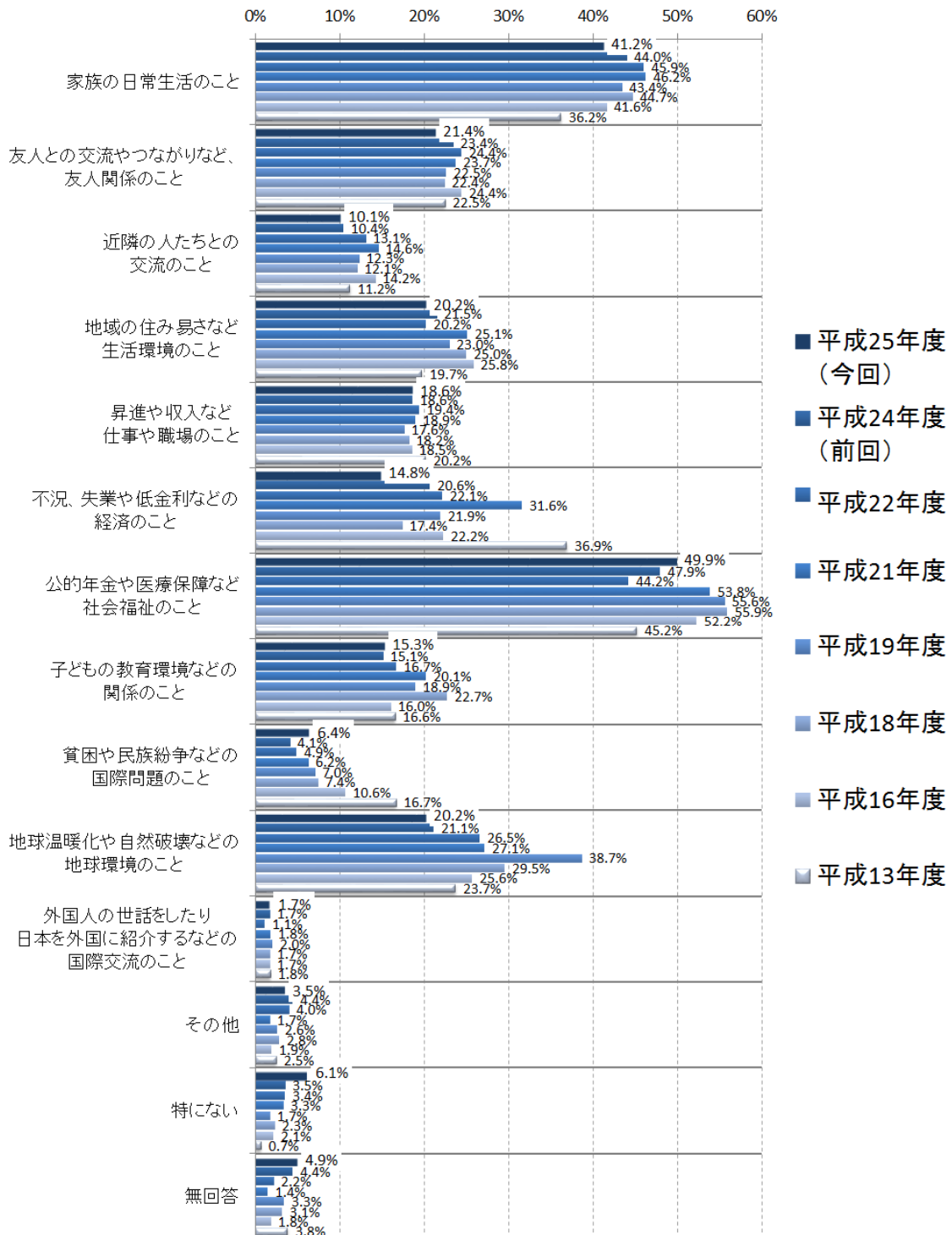
2 回答者の特性

2-1 興味関心

回答者の興味や関心をみると、“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”（49.9%）と“家族の日常のこと”（41.2%）が多くなっています。

前回と比べると、“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”への回答の割合が増え、最も興味や関心の高い項目となっています。

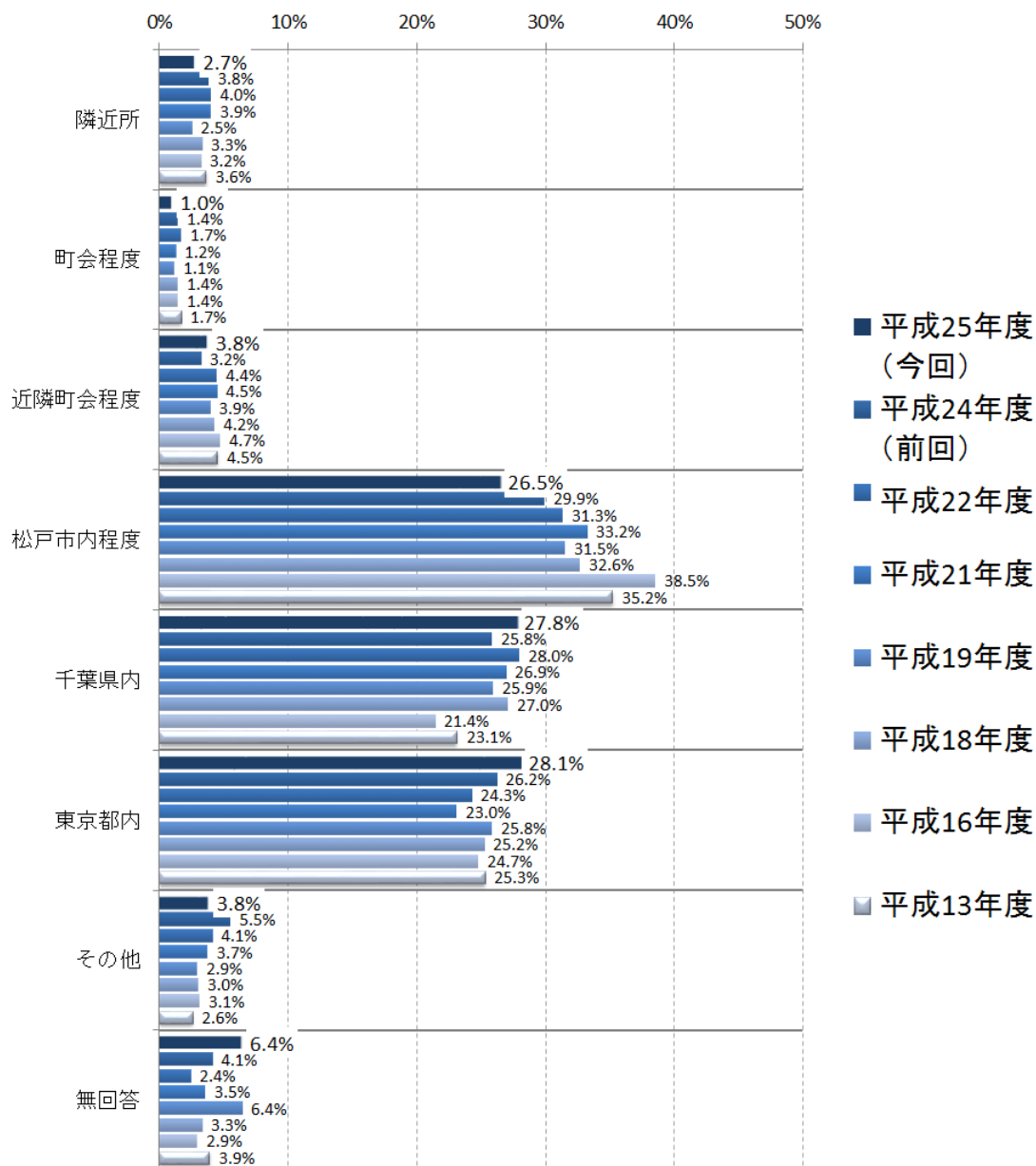
（複数回答）



2-2 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲は、“東京都内”(28.1%)、“千葉県内”(27.8%)が多く、次いで“松戸市内程度”(26.5%)となっています。

前回調査と比べると、“松戸市内程度”への回答の割合がやや減少し、“東京都内”、“千葉県内”への回答の割合が増加しています。

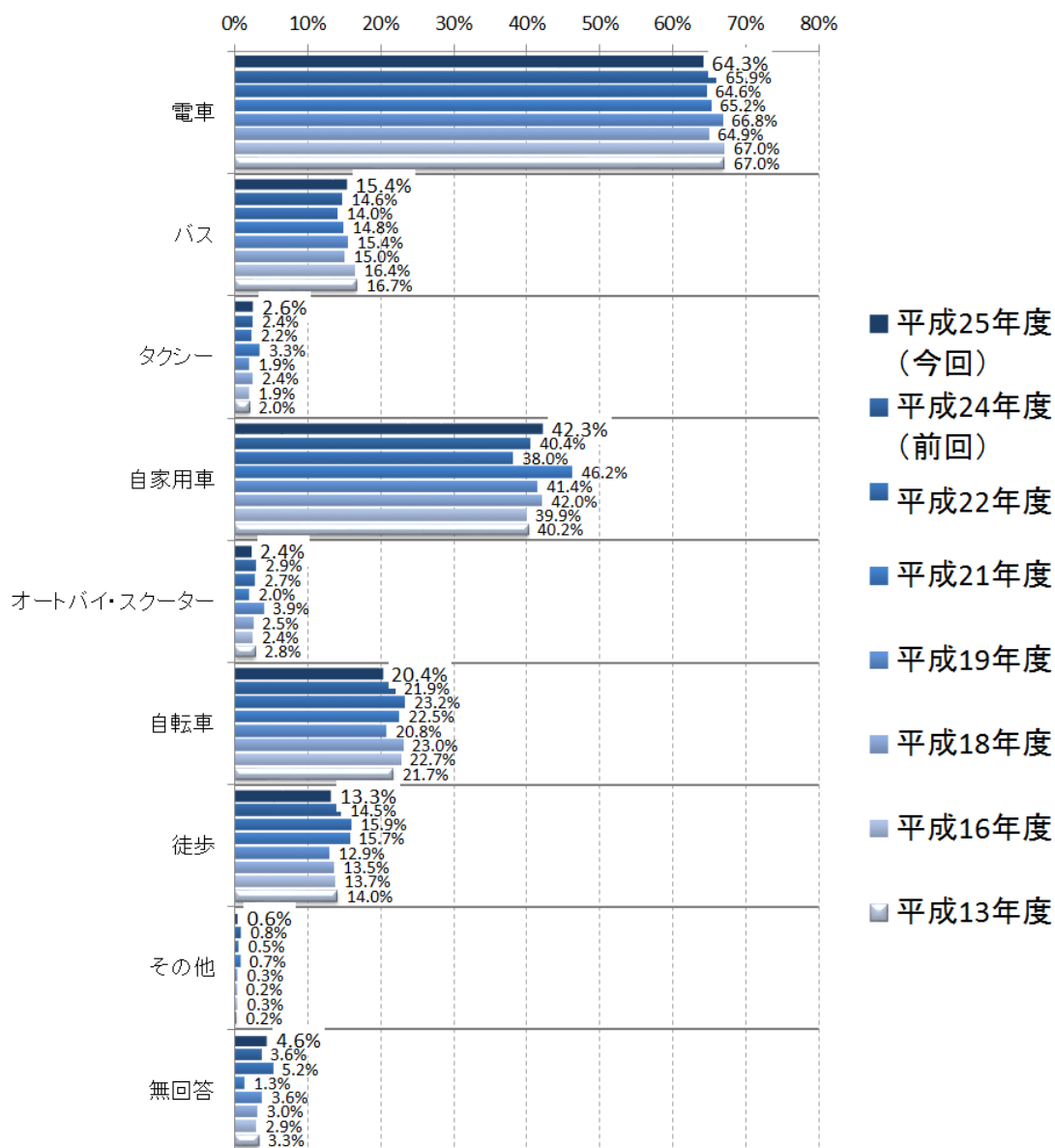


2-3 主な交通手段

回答者の主な交通手段は、“電車”(64.3%)が6割以上と最も多くなっています。次いで“自家用車”が42.3%、“自転車”が20.4%となっています。

前回調査に比べると、“自家用車”への回答の割合が増加し、“電車”、“自転車”への回答の割合が減少しています。

(複数回答)

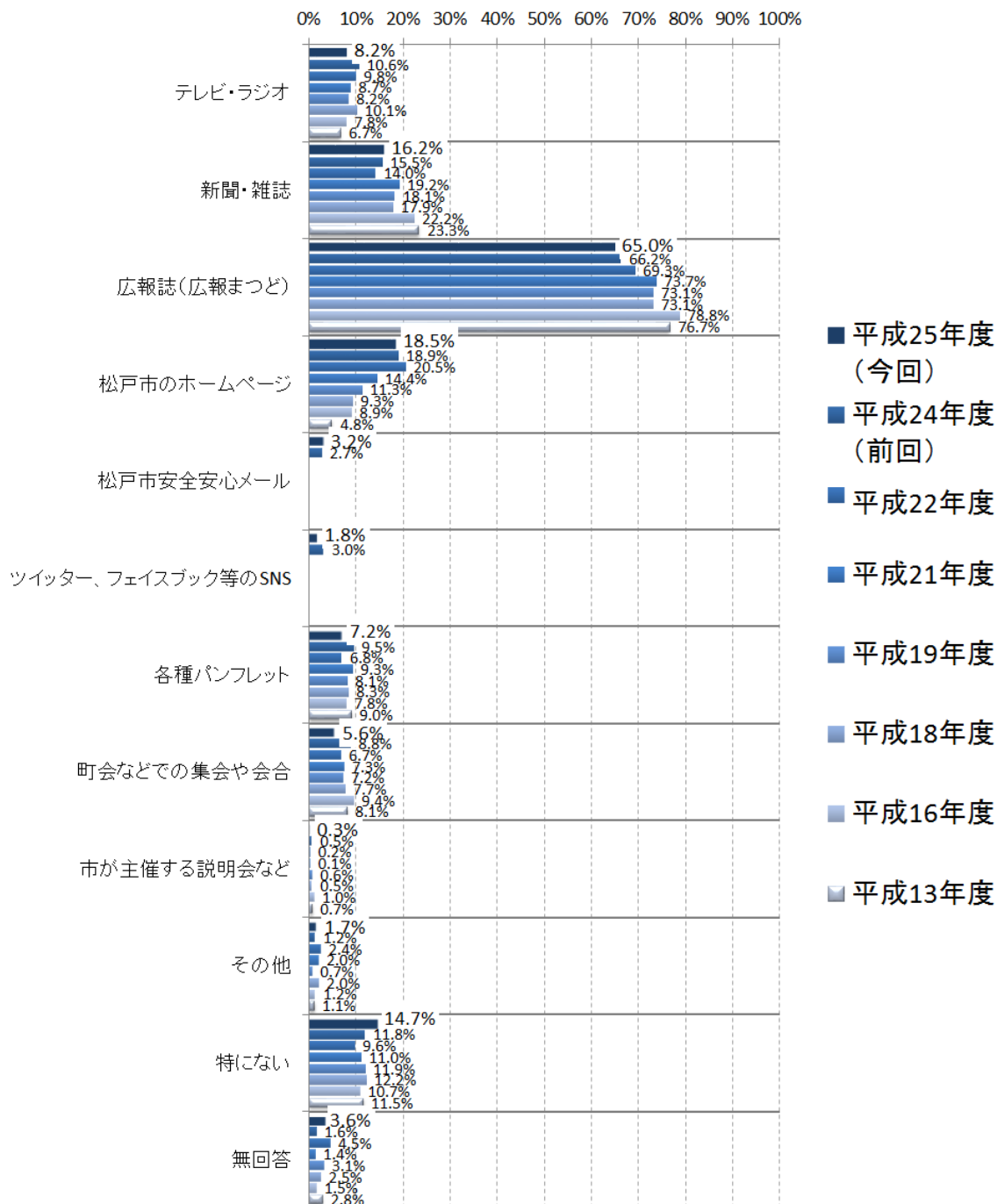


2-4 行政情報の入手先

回答者の行政情報の入手先についてみると、“広報誌(広報まつど)”が65.0%で前回調査と同様に最も多くなっています。

“松戸市のホームページ”は回答の割合がやや減少し、今回調査では18.5%となっています。ただ情報の入手先としては“広報誌(広報まつど)”に次いで活用されています。

(複数回答)



2-5 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、前回同様に“どちらとも言えない”(41.0%)が最も多くなっています。“非常に満足している”、“まあまあ満足している”への回答の割合は前回調査に比べ増加し、“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”への回答の割合は減少しています。

